

第4回

南山大学・豊田工業大学

連携講演会



【テーマ】 **アメリカと私**

参加費無料

日時 **12月5日(土) 13:30~16:15**

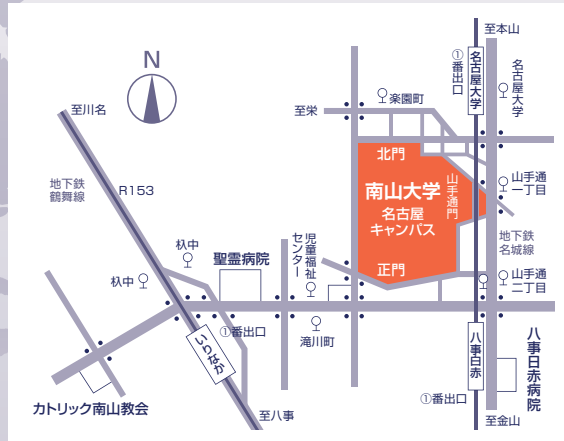
会場 **南山大学名古屋キャンパス
B棟B11教室
名古屋市昭和区山里町18**



スケジュール

ミカエル・カルマノ南山大学長

1. 挨拶 南山大学長
2. 連携趣旨と概要・実績等の紹介
3. 講演①「日本とアメリカ相互理解のための「アメリカ研究」」
4. 講演②「日米新時代に生きる
—大学の設立・運営からみた日米文化差—
5. 質疑応答



■名古屋キャンパスへのアクセス

- 地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口より徒歩約8分
- 地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩8分
- 地下鉄鶴舞線「いりなか」駅1番出口より徒歩約15分

*駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



南山大学

南山大学名誉教授

岩野 一郎

日本とアメリカ 相互理解のための「アメリカ研究」

日米両国は第二次世界大戦後の国際関係の中で、互いに最も重要なパートナーであり続けて来ました。しかしながら、日本では明治の開国期を除いて、「アメリカ研究」をおろそかにしてきた感否めません。たとえジーンズをはいたり、ハンバーガーを食べたりしていても、それらをアメリカの文化として捉える姿勢には欠けているといってもよいでしょう。アメリカは人種・宗教・文化・政治構造などのいずれをとっていても、多様性に富んだ国です。そのアメリカをよりよく理解することは、異文化・多文化の理解にとって役に立つことです。私の体験を踏まえながら、「アメリカ研究」とは何か、大学レベルの教育で何をしてきたのかをお話してみたいと思います。



豊田工業大学

豊田工業大学名誉学長
豊田工業大学シカゴ校学長

永澤 満

日米新時代に生きる 大学の設立・運営からみた日米文化差

アメリカの大学には、世界中から多くの学生や優秀な研究者が集っています。日本の大学とアメリカの大学との間の本質的な違いはどこにあるのでしょうか。豊田工業大学は、私が若かりし頃に高分子科学の研究の場として過ごしたシカゴ大学の構内に、2003年大学院大学としてシカゴ校(TTIC)を開学し、私は同校の学長として在職しています。講演では、アメリカでの生活を通して私が体験したエピソードを織り込みながら、50年の時空を超えて実感した日米の学生や研究者の気質の違い、そして研究環境の違いについても話し、今後我が国の科学技術レベルが世界に伍していくために、教育が果たすべき役割をみなさまと共に考えてみたいと思います。

申込方法

ハガキ・FAX・E-mailにてお申込みください(電話申込は不可)。参加希望者(同伴者がいる場合は同伴者の氏名)の郵便番号、住所、氏名、年令、電話番号をご記入ください。先着300名様に「招待券」をお送りします。

定員

300名(先着順・無料)

申込先

南山大学学長室「連携講演会」係

問合せ先

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 / Fax.052-832-0666 / E-mail. pr-gaku@nanzan-u.ac.jp

南山大学学長室 / Phone.052-832-3113 豊田工業大学渉外広報部 / Phone.052-809-1764

個人情報の取扱いについて... 収集した個人情報は、受講・キャンセル受付、受講票の作成・発送、受講者リスト作成、講演会受付・今後の講演会開催のご案内のために利用します。なお、収集した個人情報は、受講票発送手続きのために委託業者にも提供いたします。



南山大学



豊田工業大学